

名家連ニュース

令和3年8月8日(日)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX(052)846-5576 NO.820号

◆ 令和3年度 7月 家族 SST 講座 報告 ◆

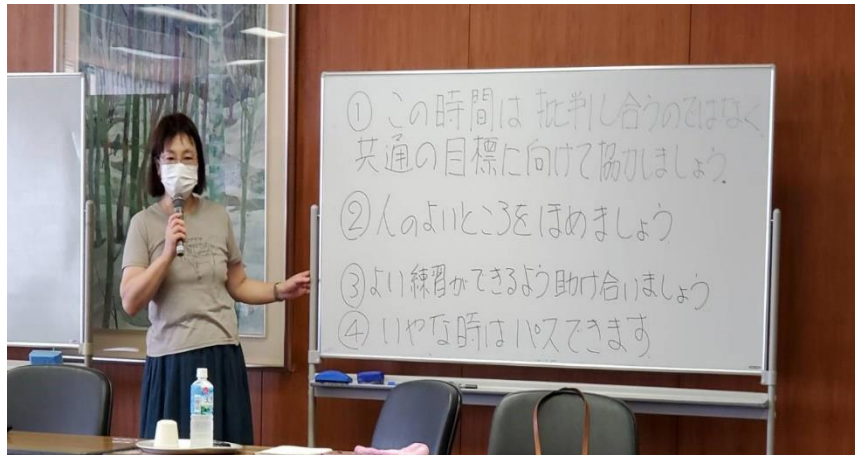
令和3年7月24日(土) 家族 SST 講座が、名古屋市北区の総合社会福祉会館7階の中会議室で開催されました。中会議室の定員は40名ですが、コロナ禍で定員半数の20名を上限として開催しています。今回は、初めて参加の方が5名、講師の吉田先生を含めてちょうど20名、新鮮な雰囲気での学習会となりました。



まず、吉田先生から家族 SST 講座を進める上での約束事の説明がありました。また、ここでの話は、この場だけにとどめる事としましょうとの確認がありました。

そして参加者全員が、自己紹介や当事者家族との近況・困りごとなどについて発言することで気持ちを共有しながら前半を終え小休止。

再開始めに、吉田先生から「対人のコミュニケーション」「こんな時どうしたら良いの」で話を進めますと提案があり本当に困っている具体的な事を自由に発言してもらう事になりました。複数の参加者から



の困り事として、病気の家族から「病気で体調が悪いのは、親のせいだ」、「仕事が出来ない、結婚できない、人生に失敗したのは親のせい」、「さらに、脅迫的な言葉、わざと困らせる事を言う」などの発言がありました。参加の皆さんの客観的な意見として、「何処まで困らせてもいいか(甘えていいか)確かめている」、「No といえる事が大切」、「第三者を間に入れる」等発言がありました。吉田先生からは、『同じ目線での言い合いに自分を巻き込まない事』が大切です。会話の主語として『お母さんは、……』という I メッセージ目線の会話になるよう工夫して下さいとまとめられました。

(感想報告;担当小島理事)